

## 指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

### 1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	市民プール
	所在地	あきる野市原小宮353番地
	所管課	あきる野市教育部生涯学習スポーツ課 スポーツ推進係
指定管理者	名 称	シンコースポーツ・アズビル共同事業体
	所在地	台東区台東1丁目27番地1号
	業務内容	① 体育施設及びこれに附属する設備の使用に関する業務 ② 体育施設における体育、スポーツ及びレクリエーションの指導及び普及に関する業務 ③ 体育施設等の維持管理に関する業務 ④ その他教育委員会が必要と認める業務
ホームページ URL		<a href="http://www.tama-spo.com/akiruno/index.html">http://www.tama-spo.com/akiruno/index.html</a>
指 定 期 間		平成24年4月1日～平成27年3月31日

### 2 施設の利用状況等について

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度
開館等日数(日)	307	320	320
利用者(来客者)数(人)	61,134	78,614	76,339
前年度比(人)		17,480	△2,275
前年度比(%)		128.6	97.1
利用料金合計(千円)	9,621	13,143	11,993
前年度比(千円)		3,522	△1,150
前年度比(%)		136.6	91.3

※平成23年度は、市の直営時の数値である。

### 3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項 目		平成23年度	平成24年度	平成25年度
収 入	指定管理料	—	55,810	53,762
	利用料金収入	—	13,143	11,993
	自主事業収入	—	5,321	9,583
	その他の収入	—	0	0
	計	—	74,275	75,337
支 出	人件費	—	9,519	9,509
	維持管理経費	—	30,342	30,355
	自主事業関係経費	—	3,333	5,201
	その他の支出	—	30,498	29,505
	計	—	73,693	74,570
収支(収入－支出)		—	582	768

#### 4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
○10月に館内にてアンケートを実施しました。 ○意見箱を設置し利用者のご意見を受けニーズに対応しました。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
○プールの水位を上げて欲しい。・・・水位の目安を設定しこまめに給水を行うようにしました。 ○更衣室内の清掃を強化して欲しい。・・・朝、夜の清掃及び確認作業を強化しました。 ○シャワーが熱い。・・・シャワー設定温度を若干下げました。 ○場内、更衣室までの通路が寒い。・・・プール場内に保温シートをはりました。通路に関しては、廊下にストーブを設置しました。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
○必須事業として水中運動を実施しました。前年比 161 人増となりました。 ○自主事業の教室事業は、全 23 教室 678 回実施し、参加者は 7,486 人となり前年比 3,696 人増となりました。 ○障がい者水泳教室の実施回数を前年 3 回から 6 回に増やし、参加者数 22 組増となりました。 ○開催する教室や物販で「るのカード」のポイント加算・使用が出来ることにより、市民の利用拡大に取組みました。 ○毎週火曜日の休館日を変更して第 2・第 4 火曜日を休館日とし開館日の拡大に取り組みました。 ○屋外プールの開場時間と開場期間を拡大しました。 ○屋外プールでの浮輪のレンタルや飲食可能エリアを設置するなどサービスに取り組みました。 ○スイムキャップに市のキャラクター「森っこサンちゃん」のイラストを入れて販売していることや監視員全員がイラスト入りキャップを付けするなど好評を得ています。 ○従来、監視員室として 2 か所をプールの見学席として開放したことにより、保護者の方から好評をいただいております。 ○自動販売機増設にともない、災害時に飲料が取り出せる機能を持たせた自動機を設置しました。 ○遠隔監視システムを導入し、24 時間体制でサポートするなど設備トラブルによる臨時休館を回避しております。

#### 5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
○電気使用量は、ヒートポンプの運転時間の見直しを行い、前年比 88.5%と節減できました。また、CO <sub>2</sub> の削減も行いました。 ○利用者の方にご協力頂いて節電・節水を実施しました。

#### 6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
利用者数は前年度に比べて 2,275 人の減となりました。要因としては、平成 24 年 10 月から 12 月まで羽村市のプール施設が改修休館となっていたため、同年の利用者が特異な増加となった反動によるものと国体の開催、ヒートポンプ更新工事による臨時休館、2 月の降雪による影響と考えられます。平成 23 年度と比較すると 15,000 人以上の増加を達成している。自主事業は、利用者の意見を取り入れ新たな自主事業教室の展開、各種イベントの実施、屋外プール無料開放を行いサービス向上に努めました。 支出面は利用者の方のご協力により節水節電を実施して、電気使用量前年比 88.5%と削減することができました。今後もこまめな消灯を心がけ節水節電に努めてまいります。 スタッフのスキル向上のためにプール安全研修会・水泳指導研修会を実施し、安全・安心な施設運営を行いました。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
<p>自主事業による参加者の増大と障がい者を対象とした教室を開催するなど幅広く市民のニーズに対応されたプログラムを取入れていると感じます。          今後も、より良い市民サービスを心掛けてください。</p>	
経費削減の取組	
<p>電気使用量は、ヒートポンプの工事により節減ができていますので、今後も駆動時間や施設内の適正な温度管理を心掛けてください。</p>	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
<p>年間を通しては、利用者数は減りましたが、これは、平成 24 年度に羽村市のプール施設の改修工事によりプールの利用者数が特異な増加となった反動によるものと工事や国体の開催また降雪による影響と思われれます。          自主事業では、利用者の意見を取り入れた新たな教室やイベントを実施した結果、利用者の増大になったことだと思われれます。          また、節水節電に努めており、スタッフのスキル向上のための安全研修や水泳指導研修会などを実施し安全安心な施設運営を行っているので、今後も続けて努力を行ってください。</p>	
総合評価	<b>A</b>

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。